

# 令和4年度(2022年度)事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

苫小牧市社会福祉協議会は「ともに支えあい みんなの笑顔が見えるまちづくり」の実現に向け、市民と協働して、さまざまな地域課題に取り組んでまいりました。

今年度は創立70周年を迎える節目の年であり「ふくしの力、彩(さい)発見」をスローガンとし記念事業を実施しました。

## 基本目標

### (1) 安心して暮らせる支援体制づくり「ひとへの支援」

#### ①CSW（コミュニティーソーシャルワーカー）

地域における人と人とのつながりを基盤とした地域福祉をこれまで以上に推進するため、新たな取り組みとして、ひきこもり・不登校支援居場所づくり「不登校家族座談会風まち」や「コミュニティーカフェ igocoti」の開設など市民一人一人に目を向け継続的な支援を実施しました。

#### 【コミュニティーカフェ igocoti の様子】



#### ②成年後見事業

令和4年4月から成年後見支援センターの広域化・中核機関化を行い、苫小牧市、東胆振三町の行政および各関係機関と連携しながら相談援助機能の更なる充実を図り、権利擁護の推進を実施しました。

#### 【令和4年度法人後見受任件数】

苫小牧市	むかわ町	安平町	厚真町
102件	1件	1件	0件

#### ③市民貸付相談事業

新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な支援として行ってきた特例貸付が9月をもって終了しました。償還に向けた様々な支援や相談体制の強化を図り、一時的に生活が困窮した方に対する継続的な自立支援を実施しました。

#### 【苫小牧市新型コロナウイルス関連貸付状況】 R2. 3/25～R4. 9/30

特例貸付相談		5,493件	
内訳		【申請件数】	【貸付件数】
緊急小口		1,400件	1,378件
総合支援金	初回	627件	592件
	延長	116件	115件
	再貸付	254件	247件
合計		2,397件	2,332件

## (2) 笑顔あふれる地域づくり「地域への支援」

### ①ボランティア

ボランティアセンターで実施する事業においては、住民参加を重点に置き、地域活動に関心がある方への講習会とワークショップを実施しました。災害ボランティアセンター関連では、職員とボランティア、行政の協力のもと開設訓練を実施しました。また、噴火などの自然災害にも迅速な対応が出来るよう防塵マスクとゴーグルを初期対応資機材として準備しました。

【災害ボラセン開設訓練の様子】



### ②ふれあいサロン

コロナ禍の中で地域におけるサロン活動や訪問による見守り活動が困難になるなど、影響があったものの、サロン通信や出前サロン等の効果により昨年度から8カ所増加しました。

【市内登録サロンの状況】

令和2年度	令和3年度	令和4年度
68カ所	70カ所	78カ所

### ③SC(生活支援コーディネーター)

犬猫一時預かり事業や勇払・樽前地区の移送サービス事業を展開しました。また、だけボラ事業における新たな取り組みとして、中層の公営住宅向けに灯油運搬ボランティアを実施し、地域の困りごとを的確に把握しながら社会資源づくりを実施しました。

【灯油運搬ボランティアの様子】



### ④男女平等参画

男女平等参画社会の推進のため、起業相談、スキルアップを目指す講座やセミナーの開催、LGBTQや虐待防止等の啓発活動を関係機関と連携して実施しました。

【LGBTQ、虐待防止等の啓発活動の様子】



### (3) 地域から信頼される社協づくり「まち全体への取組」

#### ①法人運営

全職員を対象に「育児・介護休業法に関する制度の理解と助け合える職場づくり」をテーマに、制度の理解と職員におけるチーム力向上に向けた研修を実施し、職員の意識向上に努めました。

また、各自主事業が安定して行えるよう自主財源の確保のため、役員とともに職員も積極的に賛同会員の加入促進を図りました。

#### ②市民活動センター管理運営

利用者へのアンケートを実施し、館内環境の整備や修繕等について市と協議し、利用者の利便性向上や安全な施設運営に取り組んでまいりました。また、利用促進を目的とした自主事業では、アンブレラスカイプロジェクトや花壇整備を行い市民が楽しみ、集いやすい環境づくりを推進しました。




【自主事業：アンブレラスカイと花壇整備の様子】

### (4) 苫小牧市社会福祉協議会創立 70 周年の取組

#### ①実行委員会の設置

若手職員を中心としたプロジェクトチームを組織し、「ふくしの力、“彩”発見」を70周年記念テーマに、実行委員会が中心となって各事業の企画・準備・運営を行いました。

【苫小牧市社協の総合力を表現したテーマとロゴ】

ふくしの力、“彩”発見 

## ②社会福祉功労者顕彰式の開催

永年にわたり福祉活動で活躍してきた方や多大な寄付により社会福祉の向上に寄与された方へ感謝状の贈呈を行いました。

**【令和4年11月16日開催 社会福祉功労者顕彰式・創立70周年記念笑顔の彩発見フォトコンテスト表彰式】**



## ③70周年記念笑顔の“彩”発見フォトコンテストの実施

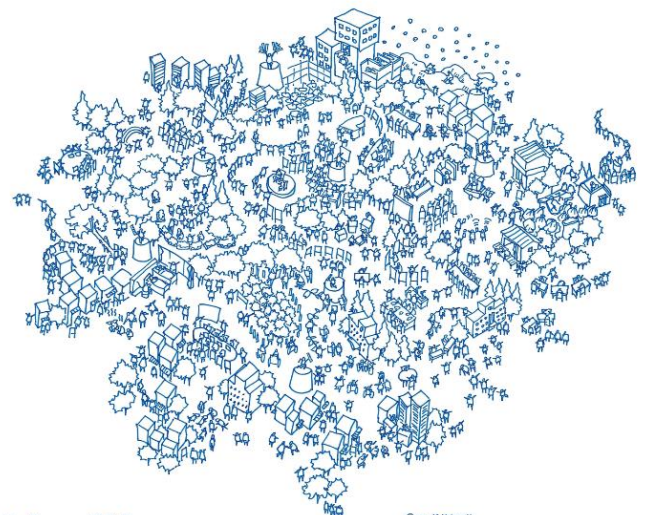
社協のことをもっとよく知ってもらうため、広く市民より募集しました。市内外から多くの応募があり、会長賞などのほか、「笑顔」をテーマにした各賞の受賞者には、社会福祉功労者顕彰式にて表彰を行い、市民活動センターにて作品展示を行いました。

## ④ライブドローイングの実施

職員がもともと持っている能力を引き出すことを狙いに10年先の苦小牧市社協での展望などを語り合い、講師が一枚の絵に表現し、自分視点での社協人としての姿を振り返りました。今後の苦小牧市社協全体での総合力や多様性を発揮して行く実りある研修となりました。



**【ライブドローイング研修会の様子】**



Redefining the Power of Welfare  
70th anniversary  
Tomakomai City Council of Social Welfare

**10年後の苦小牧市社協イメージ画】**

## ⑤ネクストラップ等のPRグッズ作成

ネクストラップやうちわ、風船などを作成し、社協創立70周年のPRを行いました。